



鷹畑山1号墳 第3次発掘調査報告書 30日に発刊

への展開を考える上で

重要とまとめに書いています。
頒布は、東田川文化記念館で400円(送料別)で行います。

弥生から古墳時代の歴史を探る上で 貴重な前期古墳

3年に渡った発掘調査のまとめともなる標記報告書が発刊されます。

巻頭図版は鷹畑山古墳群の航空写真で、その位置や周辺地形が俯瞰(ふかん)できる貴重なもので、鶴岡市の好意で掲載できたといえます。

川崎利夫調査会長は、周囲に丸く周堀を造りその内側を墳丘の範囲として、徐々に土砂を積み上げ、墳丘の崩れや流失を防ぐため安山岩礫など配し、一段一段丁寧に造られており、このような古墳は余りないこと、弥生時代末期の天王山式土器片が出土していることは、弥生時代から古墳時代

書き残しておきたいこと

私の戦争末期の海軍体験記③

加藤倉多(86歳・宝徳)

教育期間は19年7月から20年2月までの8ヶ月間で、最後の1ヶ月は防府から近くの通信実習所に分散して出て、決められた電波を使つて誰ともわからない相手と交信できたときは感無量でした。

20年3月5日。第72期普通科電信術(交信)練習生教程卒業・普通科電信術特技章(桜マ

ーク)を貰う。卒業近く、卒業したら何処に行きたいかを書かせるという話がありました。先輩が舞鶴所轄の兵は船に乗りたくても船がないから思い切つて危ない所へ希望しろ、安全な所を書くと危険な所にやら

れらからと教えてくれました。それで私は「南方特攻基地」と書きました。20年3月9日、通信学校在籍のまま佐世保鎮守府(海軍の地方本部で、私たちが属する舞鶴と横須賀・呉・佐世保の4つがある)に派遣。同期生数十名に高等科生を班長にして佐世保の海軍工廠に行かされました。

仕事は特攻基地の防空壕に無線通信施設を造るものでした。佐世保に行つた最初の日曜日、自由外出で街に出ましたが、やはり自由外出の陸軍・海軍の兵の多さに驚きました。(つづく)

卒業近く、卒業したら何処に行きたいかを書かせるという話がありました。先輩が舞鶴所轄の兵は船に乗りたくても船がないから思い切つて危ない所へ希望しろ、安全な所を書くと危険な所にやら

佐高信君、

「国民連合政府」に期待

—しんぶん赤旗を読んで 青山崇

佐高君は、1967年、新採で庄内農高に来た。私は山添高転任で入れ違いになった。同じ社会科教師だったので会うことも多く、年齢は私の方が先輩で、思ひ出も多いがそれを書く場でもない。とにかく東京に出て経済雑誌社で修行し、「辛口」評論家として一流となった。



「共産党よく踏み切った」

佐高信さんと小池晃副委員長は19日、評論家の佐高信と「国民連合政府」の提案について、東京市内で懇談した。

佐高氏は、国会前の行動で見かけた「自民党に賛成を、公明党に反対を」というラカードの文言をあげて、「参院選までのわかりやすいスローガンをかかげてほしい」とのべました。

「国民連合政府を」 各界と懇談

しんぶん赤旗2015年11月21日付け

近年共産党と疎遠になつていたようだが、しんぶん赤旗11月21日付に、小池副委員長と懇談、「共産党よく踏み切った」という記事が載つた。

「佐高君よく踏み切った」と嬉しかった。彼は、提案について、「期待しています。私のまわりでは『よく踏み切った』なという話になつていきます。共産党だつて大変だつたでしょう」とのべている。そして、彼らしい提



50年前の新婚学級

来年のことを言うのが笑うと笑うまいテ。今なら鬼も笑うまいテ。私ごとになるが、2月の末で金婚と言うことになるんです。

▲それです。50年前のことだが、役場が新婚学級と言うことをやってくれたのでした。ナンボ組だつたらうか、5〜6人もいたような記憶です。探せばあるかもしれないが、今の文化記念館で記念写真を撮つたのでした。

▲何回集まつて何を勉強したかは、まるつきり頭にありませんが、最後にあつた講演の一部だけは覚えております。当時の担当課長さん(今も健在であられます)のお話でした。

▲それは、長い講演の中の一つです。「禍福はあざなえる縄の如し」と言う言葉です。良い時も悪い時も

案、国会前で見かけた「自民党に天罰を、公明党に仏罰を」というプラカードをあげて、「参院選までのわかりやすいスローガンをかかげてやってほしい」と。

さらに安倍政権がメディアへの圧力を強めている状況をくわしくあげ、「いま反撃の方法を考えている」とのべたという。東京のみならず故郷庄内でも「国民連合政府」実現力を期待したい。

二人で過ごしていくんですよ、と言うことだつたと思います。課長さんになれば、こういうお話もするんだ、と当時思つたものでした。

▲で、この学級の同級生から、「来年はあれから50年だなや。役場で仕掛けたんだもの。役場から声かけてもらつて一回あづばろで。わー、役場さ話してくれっちゃ」と言われていたので、納得し役場(今は藤島庁舎)の課長さんに来年度に開いてくれるよう頼んだのです。

▲多くの予算を必要としないで出来ると思うが、役場とすれば新しい仕事になるわけだから、担当どこにするか、などあるうが、会の運営には言いだしっぺの彼も入れて相談に乗ろうと考えている。

▲俺たちが一回目の学級のはずです。元気で当時の課長さんが顔を出されたら、みんな大感激になるでしょう。(石川)